

令和 3 年 9 月 足立区長定例記者会見

－ 第 3 回 足立区議会定例会前 －



ふみだそう。新たな一歩を。

2021 9 13

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

1

令和2年度 普通会計決算について

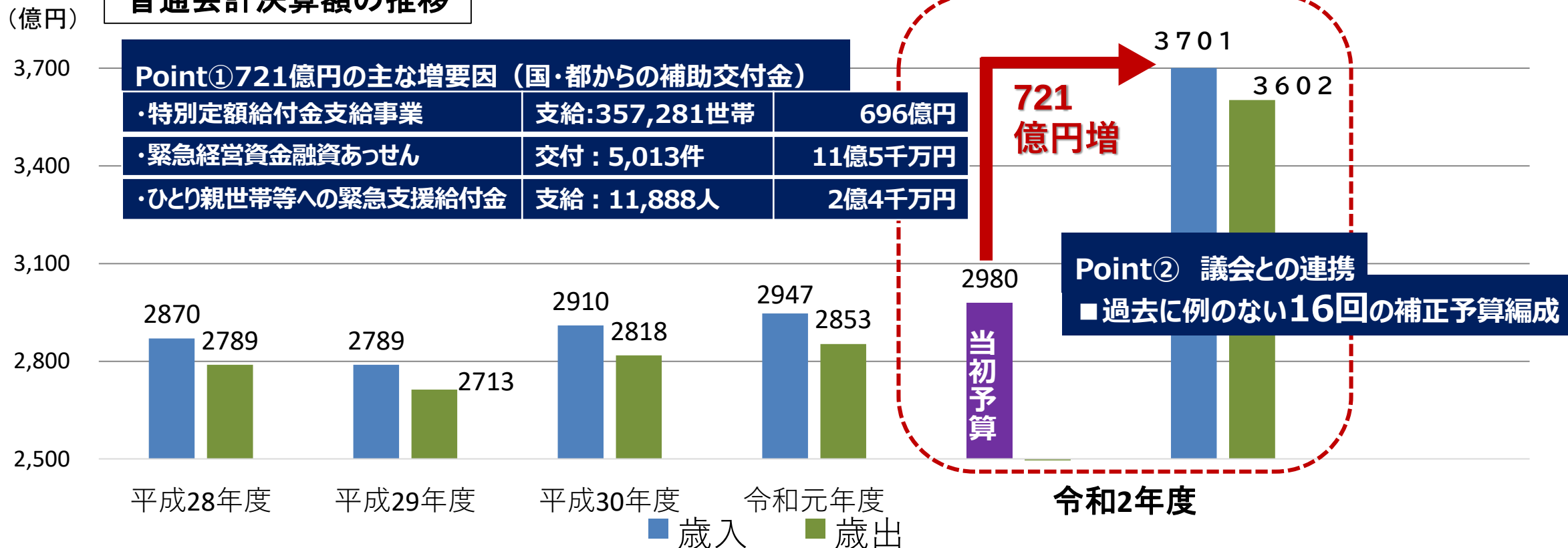
決算額はコロナ対策の影響で過去最大に

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策

【歳入】 3,701億円（前年比754億円  ） 主な要因：新型コロナ感染対策等国庫・都支出金の増（785億円）

【歳出】 3,602億円（前年比749億円  ） 主な要因：新型コロナ感染対策経費の増（807億円）

普通会計決算額の推移



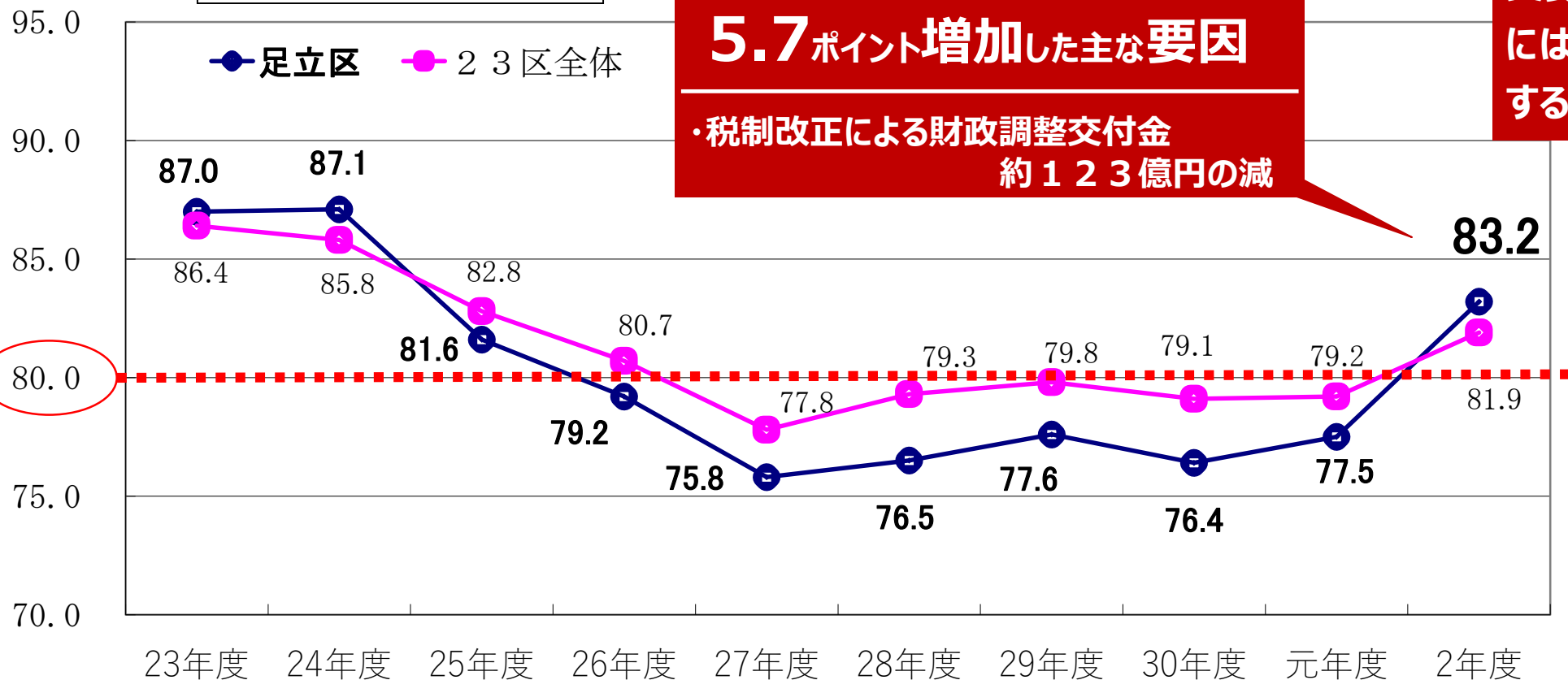
「経常収支比率」はやや硬直化

令和2年度は**83.2%**（令和元年度：77.5%）

平成**25**年度以来**7**年ぶりに適正水準を超過（適正水準：70～80%）

（単位：%）

経常収支比率の推移



今後の財政状況

景気の影響による交付金の減少が見込まれるため、経常収支比率を適正水準内に収めるには、数年厳しい状況が継続することが予想される

経常収支比率とは

定期的に入ってくる収入（給与等）に対する、必ず支払わなければならない経費（家賃、光熱水費等）の割合。なお、家計に置き換えると、比率が適正であれば、急な入院への対応、将来に備えた貯蓄や余裕のお金を趣味などにあてることができる。

令和2年度の新型コロナウイルス感染症対策の取り組み

▲ 足立区
2020(令和2)年度 予算編成のあらまし

2020
その先の足立へ

合言葉は、安心・安全。

東京2020大会

災害対策の見直し

人生100年時代

コロナにより抜本的な見直しが急務に

次ページで進ちょく紹介

コロナ禍における主な緊急対策

事業費 80,717,426千円
国・都補助金 77,956,173千円
区財源 2,761,252千円

対策① 全国初 自宅療養セットの支給



自宅療養者に食料品や日用品の配付

支給件数:
503件

R3.1.27~以降
は都が支給

430万

対策③ 疑い患者用の病床確保支援

病床を確保した医療機関へ

病床整備:月最大28床、支給実績:延べ7,974件

3.3億

対策② 小規模事業者経営改善補助金

導入

テレワークやWeb会議用パソコンの購入
店内・職場内改装費用等

1社最大20万円

交付件数3,654件

6.0億

対策④

介護・障がい福祉
サービス事業等へ給付金の支給

1事業所

10~30万円の支給

934事業者に支給

1.4億

コロナ禍でも着実な行財政運営

水防体制の再構築

4つの部会を設立し、
課題や対応策を検討

- ・避難ルールの策定
- ・災害備蓄品の充実
- ・あだち防災マップ&ガイドの全戸配布
- ・浸水深表示の設置拡大

子どもの貧困対策

あだち子どもの未来応援基金
創設で切れ目ない支援を実現

- ・ひきこもりの方の居場所開設
- ・あすテップ開設（不登校対策）
- ・外国にルーツをもつ子の支援
- ・スマイルママ面接の導入

GIGAスクール構想

全児童生徒へのタブレット
端末配備配付に向け本格着
手

令和3年9月16日

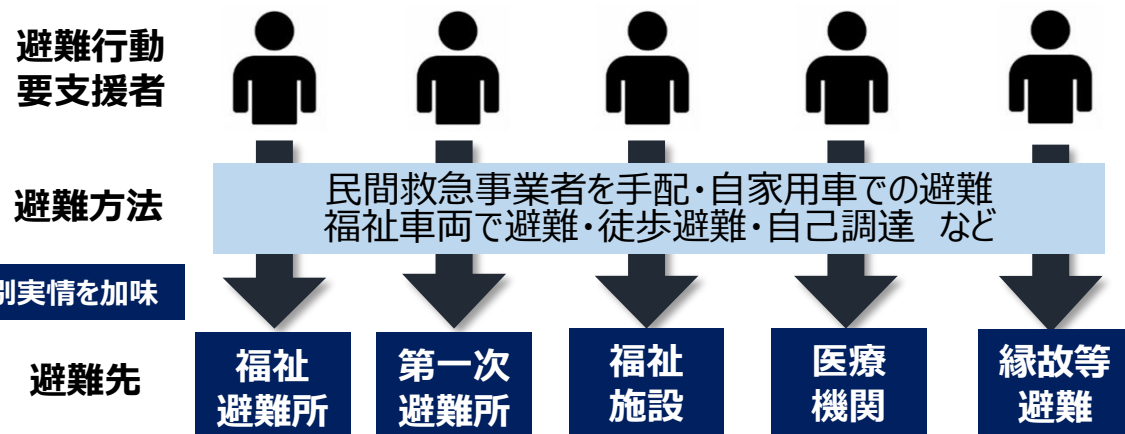
45,000台 配備完了

◆ 優先区分Aに該当する87名の個別避難計画を作成

訪問 **68名** 8月末までに**訪問確認完了**
※ 施設入所や長期入院等になった19名を除く。



個別の実情に沿った避難先・避難方法を計画書に記載



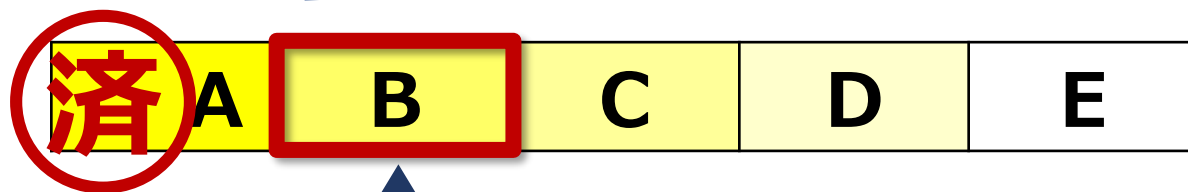
◆ 令和3年9月以降、優先区分B 498名に着手

目標 令和3年9月～令和4年の台風シーズン（8月末）までに
令和3年度：233名 令和4年度：265名

今後更に計画作成を加速させるには

- ・ 関わる介護サービス事業者を増やし更なる連携を図る
 - ・ 介護サービス事業者に本事業の啓発を進めることも必要
- 優先区分Bの要件のうち要介護で該当する方から着手

優先度 高  低



- ・ 自宅が浸水する
- ・ 自力で歩いて避難できない
- ・ 避難する際に支援者がいない



要介護度3
障害支援区分4
身体障害者手帳1～3級

※ 3級は条件あり

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

2

新型コロナウイルス関連

感染拡大への対応、学校再開、感染状況、ワクチン接種状況

新型コロナウイルスの追加対策

9月7日臨時会で
第6号補正予算議決

感染者急拡大へ対応

電話がつながりやすい体制づくり

発熱相談センター体制を強化 **40,050千円**

電話での相談対応を行う派遣職員増 10名→20名

自宅療養者へすぐに貸与します【自宅療養用】

パルスオキシメーターの購入 **22,000千円**

既購入済等2,800個／追加購入2,000個

その他の拡充

入院患者移送委託	1,460件→4,320件 (+2,860)	157,240千円
入院患者医療費公費負担	3,650件→5,169件 (+1,519)	171,448千円
保健所の電話代・郵送代		28,687千円

換気が難しい施設等の対応

区有施設空気清浄機の購入 **46,789千円**

施設名	台数
住区センター、子育てサロン(保育室、工作室、赤ちゃんルーム等)	139
総合スポーツセンター、図書館(更衣室、おはなしの部屋等)	26
郷土博物館、エル・ソフィア(第一展示室、LGBT相談室等)	3
ギャラクシティ、シアター1010(多目的室、稽古場、音楽練習室等)	40
障がい福祉センターあしすと(相談室、保育室、生活室等)	22
総合ボランティアセンター(録音室)	1
区立保育園(ロッカー室、職員休憩室)	77
合 計	308

介護事業所 空気清浄機の購入補助 **58,000千円**
障がい事業所

対象事業所名	台数
介護事業所(特別養護老人ホーム等)	400
障がい福祉サービス等事業所	180
合 計	580

補助率
10分の8
上限10万円/台

※都補助を一部活用

民設学童、私立保育園、幼稚園等は既存の補助制度を活用



足立区立小・中学校の再開について

中学3年生の修学旅行について

- 原則、緊急事態宣言中は修学旅行を実施しない
- まん延防止等重点措置中は条件付きで実施を認める



修学旅行を実施する条件

- 参加希望生徒(9月までに希望調査済み)に修学旅行の前・後の2回、抗原検査を実施



※抗原検査を実施しない学校は、修学旅行の実施を認めない
※抗原検査により陽性となった生徒と修学旅行不参加の生徒の合計が中学3年学年数の25%を超える場合は中止とする
※抗原検査を拒否する生徒は「出席停止」扱いとする

抗原検査にかかる費用を区が負担

9月7日臨時会にて
第6号補正予算議決

修学旅行にかかる抗原検査費用

$1,680\text{円} \times 2\text{回} \times 1.1 \times 4,935\text{人} = 18,240\text{千円}$

※全中学3年生4,524人分と引率等411人分

本日、9/13(月)より学校再開

- 保護者判断で、**登校**か**リモート学習**を選択



- 各校の状況により校長判断で「分散登校」も可

分散登校実施数

区立小学校69中

6校

区立中学校35校中

4校

※ 分散登校は、1学級の半数ずつを登校する日と登校しない日を決めて登校を分散

- 登校の場合は、給食提供を行った上で、当面の間は4時間授業

足立区の新型コロナウイルス感染状況（9月10日現在）

区内でも若年層への感染が急拡大

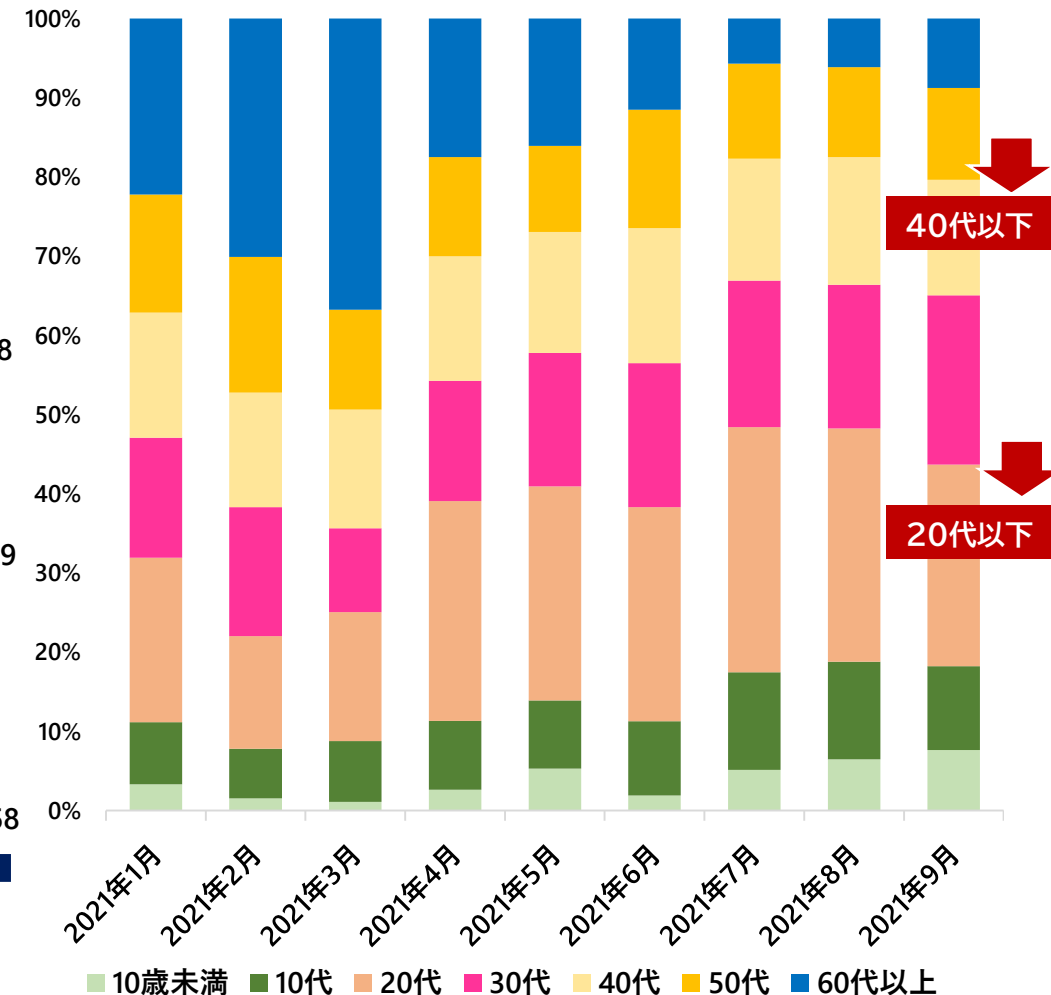
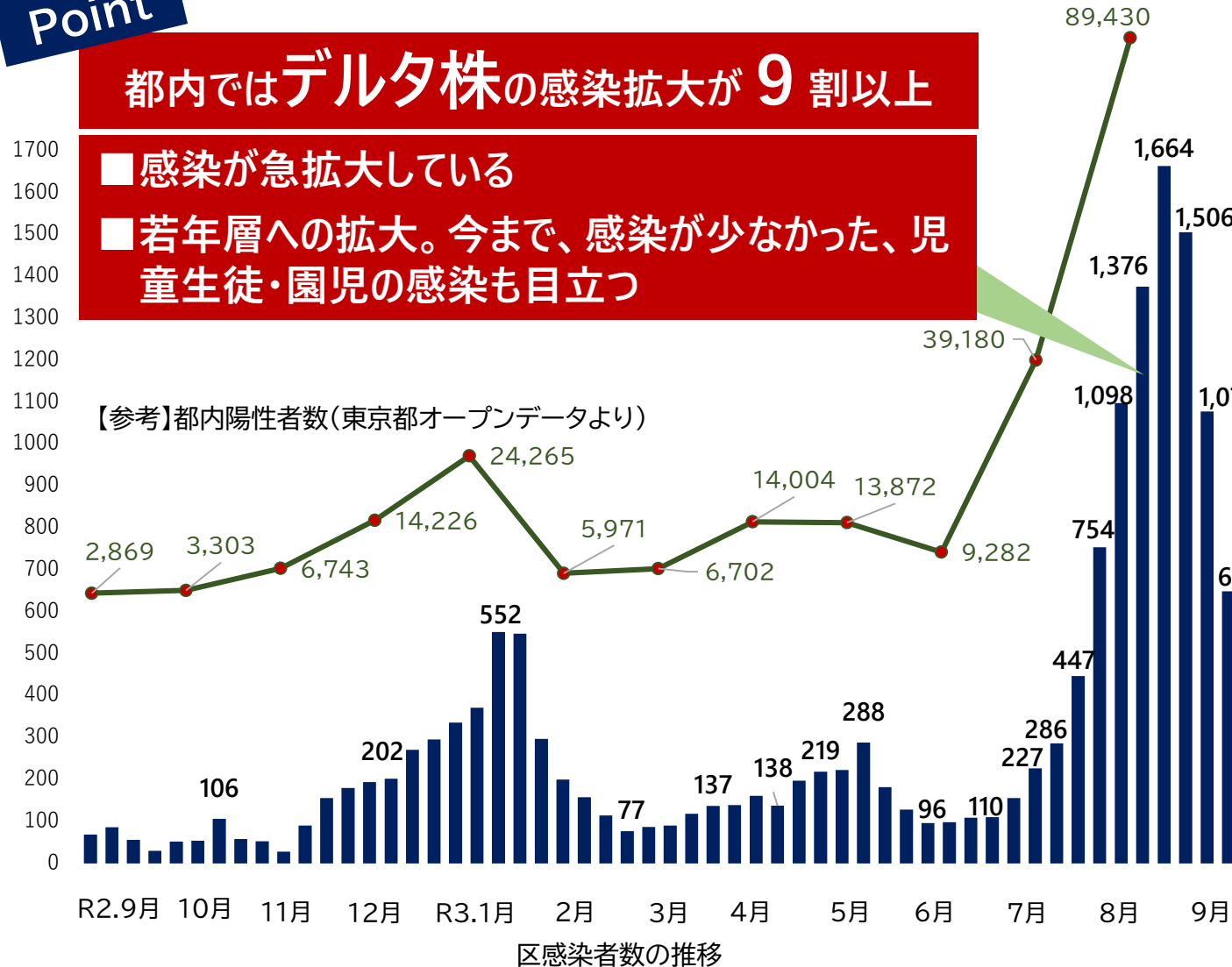
Point

都内ではデルタ株の感染拡大が9割以上

- 感染が急拡大している
- 若年層への拡大。今まで、感染が少なかった、児童生徒・園児の感染も目立つ

Point

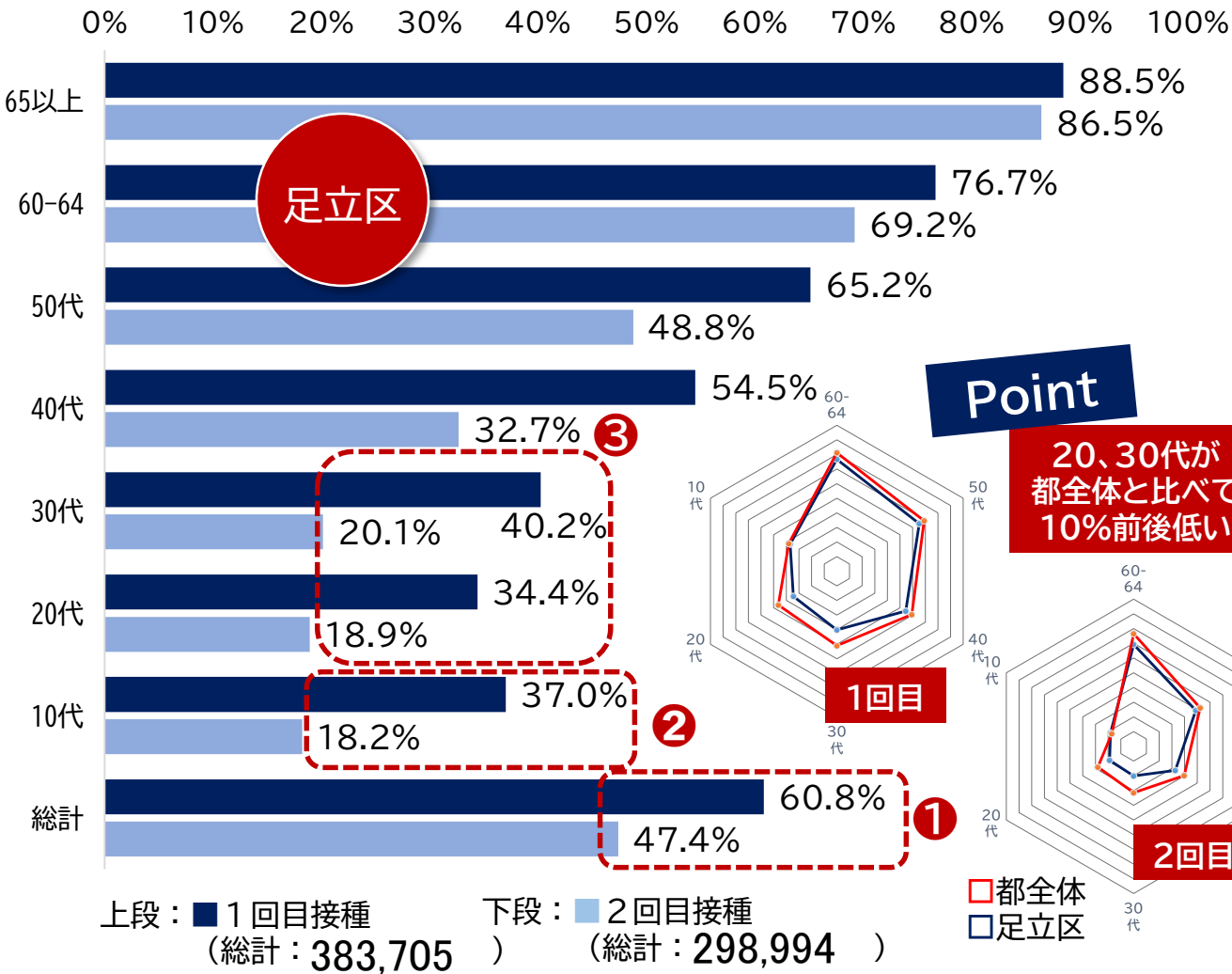
- 感染者の約80%が40代以下
- うち、半分以上が20代以下



足立区のワクチンの接種状況（9月10日現在）

若年層への接種に向けて

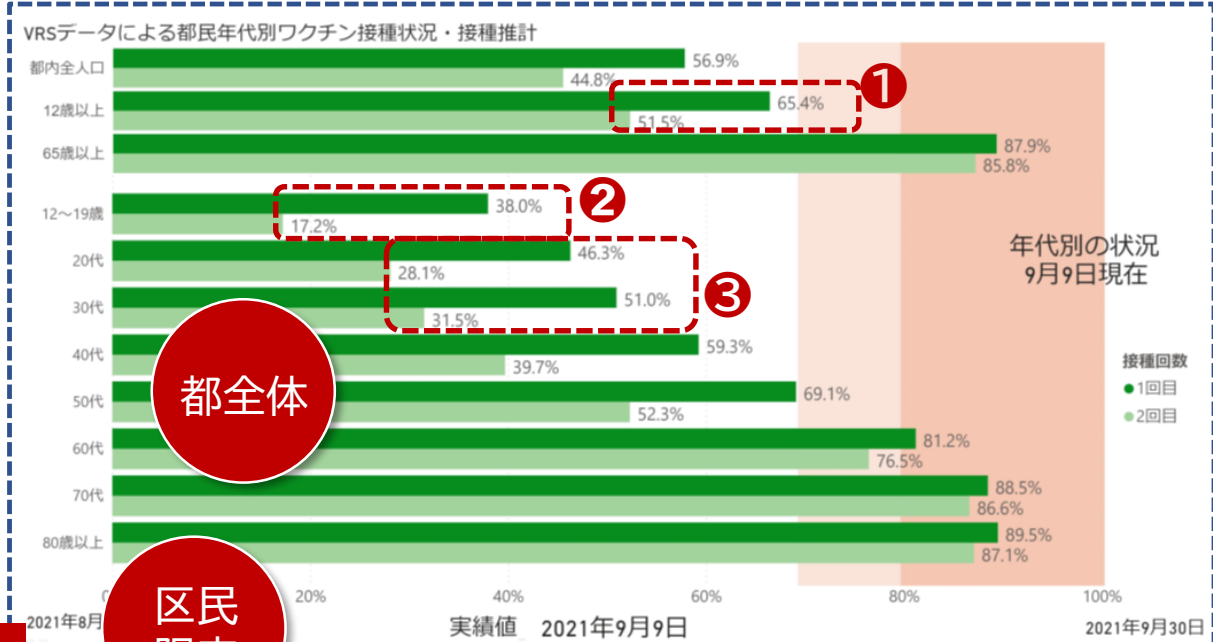
年齢層別 接種率(%)



Point

20、30代が
都全体と比べて
10%前後低い

■ 都全体
■ 足立区



16歳以上 20代・30代中心 / 予約なしで接種を開始

9/20(月)から10/3(日)まで (約8千人分)

※9/22(水)は休み、接種可能人数は日によって異なる
※区ホームページ、A-メール、公式LINE等でお知らせ

区役所庁舎ホール/モデルナ社製

※接種時間 全日9時～20時 (途中休憩時間あり)
ただし、9/21(火)のみ11時～20時

※2回目の予約は、予約システムからご自身で(翌々日以降)

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

3

ひとり親・生活困窮世帯へ 食と自立をサポート

支援団体からのヒアリング結果を施策に反映

コロナ禍での生活困窮世帯の状況を正確に把握

長期化するコロナ禍

経済的困窮世帯への
影響を懸念

生の声を聞き
求められる対策を見極める

ひとり親家庭・生活困窮世帯を支援
する7団体と意見交換

意見交換会を7月8日、9日に2回実施

参加団体（7団体）	主なご意見
● フードパントリー運営団体 ● 子ども食堂運営団体 ● 子育てママの居場所を支援する団体 ● 自宅などで子どもの預かりや保育施設等へ送迎する団体 ● 居場所と学習を支援する団体	■ フードパントリーの利用者が急増 ■ フードパントリーへの冷蔵庫、冷凍庫支援 ■ 子ども食堂による弁当配布のため住区センターでの調理設備の利用 ■ 利用者からはお米のニーズが高い ■ ひとり親への就業支援策の拡充 ■ 生理用品等をパントリーで配布

食の支援

ひとり親の
自立支援

その他

早急に対応が必要なものは開始または今回補正予算／検討が必要なものは今後補正予算で

ご意見を受け、食・ひとり親自立支援策を開始・拡充

1 食の支援【対象：支援団体】

団体支援補助金を改正し
令和3年度予算内で対応

拡充

10月から

運営費補助の上限を**20万円から30万円**に引き上げ

- 子ども食堂やフードパントリーの利用者増に対応



住区センターは飲食を伴う貸し出しを中止しているが
子ども食堂が弁当を調理する場合に限り貸し出しを許可

新規

10月から

冷蔵庫・冷凍庫の購入の場合は運営費補助とは別枠で
10万円上限に補助

- 子ども食堂やフードパントリー寄付者から、多様な食品の提供あり
- 従来の補助金では、冷蔵庫や冷凍庫を購入すると食材に回す費用が少なくなってしまう

新規

10月から

学校の長期休業期間に子ども食堂の開催回数増のため
1回1万円を補助(要件: 1回10人程度)

- 夏休みと冬休みなどは、子ども達の食の支援がさらに必要になる
- 年間**50万円を上限**に補助を拡充

現状

1団体1カ月あたり1回開催

今後

10回以上開催を想定

“今”の課題を解決

食を支援していただける団体へ
運営費用の拡充や活動の場を提供

2 ひとり親の自立支援関連【対象：各世帯】

第7号補正予算で
9,812千円を計上

拡充

11月から

就労支援対象要件を**拡大**

- 児童扶養手当の**一部支給**の方の**所得限度額**から、**所得プラス100万円以下**のひとり親世帯へ拡大

所得状況や扶養人数により
支給の階層が分かれている

★要件拡大となった対象者も含めて以下の支援が受けられる

国の補助を受け令和3年4月より拡充(令和3年度の時限措置)



- 支給対象訓練期間を「1年以上」を「6ヵ月以上」に緩和
- 現在の国家資格に加えデジタル分野等の民間資格に対象を拡大(例: Webクリエイターなど)

令和4、5年度 区の独自予算で支援(予定)

新規

4月から

訪問による生活相談支援を開始

新年度予算で計上

- 令和4年度から新たに会計年度任用職員を雇用し、自宅や関連の公共施設へ訪問

“将来”の格差を是正

資格取得を支援し、正規就労に結び付ける
経済的な安定につなげる

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

4

～文化遺産調査特別展～ 谷文晁の末裔

二世文一と谷派の絵師たち



今、明らかに。谷派絵師たちの全て。

足立区文化遺産調査特別展

谷文晁の末裔

二世文一と谷派の絵師たち

江戸後期のカリスマ絵師

■ 谷文晁とは何者か

関東文人の総帥と称され、全国各地に膨大な弟子を抱えていた谷文晁。狩野派などの国内技法のみならず、西洋や中国の表現手法を学び、巧みに操った。サントリー美術館をはじめとして、「文晁」の名を冠した数々の展覧会が開催されるなど、近年、その人気が急速に高まっている。

谷派の系譜を継ぐ文晁の孫

■ 二世文一の謎に迫る

文晁の後継者と期待されながら32歳で早逝した一世文一の子である二世文一。文晁の門下である上沼田村(現在の江北)の豪農・船津文淵(ふなつぶんえん)と親交が深く、平成27年には、文淵の子孫の家から、膨大な数の資料が発見されたが、いまだ謎多き絵師の一人である。今回は約90点のうち、初公開を含めて約30点の二世文一作品や資料を展示する。

歴史と文化をつむぎ続ける

■ 美と知性の宝庫 足立

平成24年の区制80周年記念事業としてスタートした文化遺産調査。今年9年目を迎え、調査成果を披露する展覧会は大小あわせて、計13回を数える。江戸中心から少し離れ、武士、町人など身分の垣根無く漢詩、俳諧、書画などが好まれた足立の魅力ある歴史が、また一つ明らかになる。

足立区立郷土博物館

2021.10.1_[金] ▶ 12.5_[日]

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。

BEYOND COVID-19

あだちから

ふみだそう。新たな一歩を。